



無人航空機
散布に対応!

殺虫殺菌植物成長調整剤

フジワラップ[®] 粒剤

登熟歩合向上効果

高品質米の生産に!

本田のカメムシ類、ウンカ類、
いもち病を同時に防除、
籾の登熟歩合も向上します。



カメムシ類



ウンカ類



ニカメイチュウ



いもち病



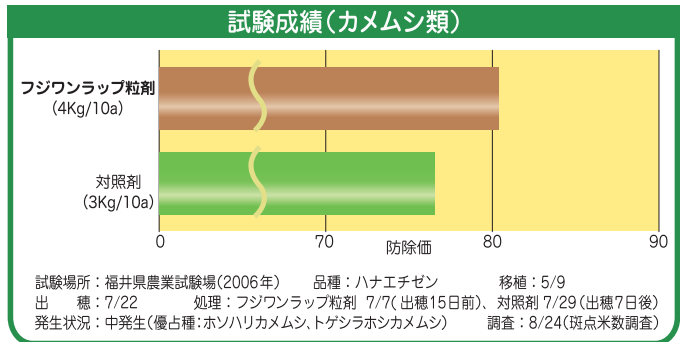
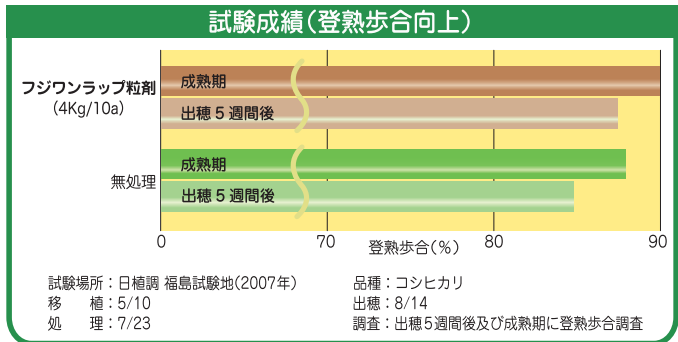
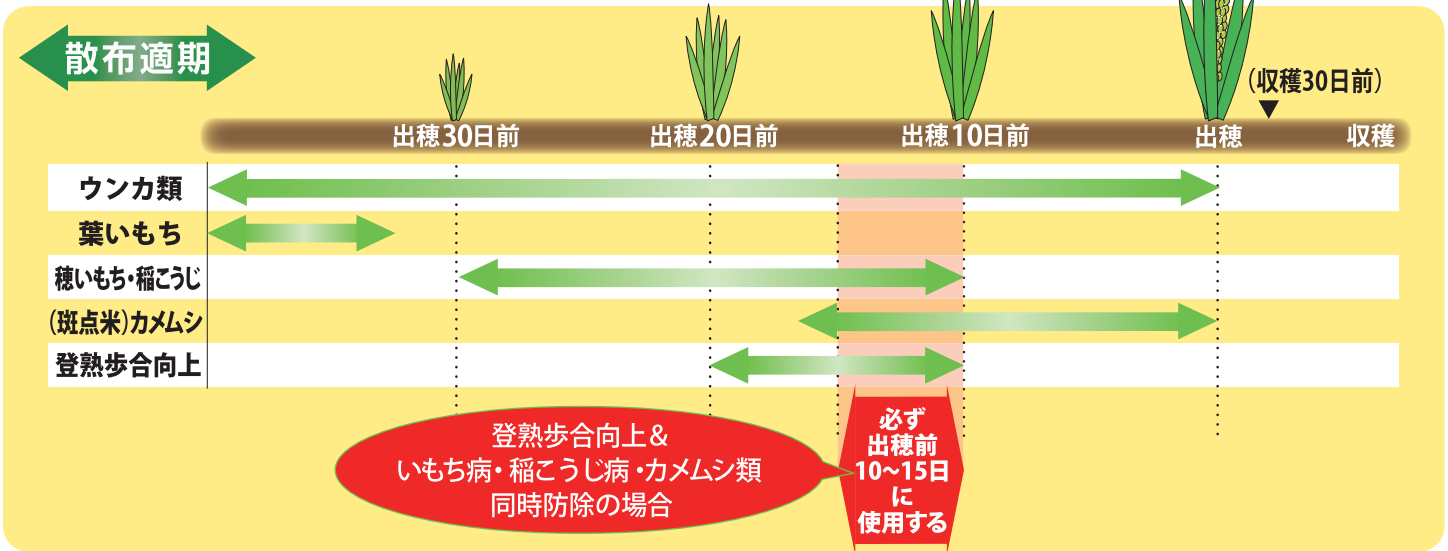
気密性の高い
パッケージに
リニューアル!

<写真はイメージです。>

®フジワラップは日本農薬(株)の登録商標

フジワラップ® 粒剤

有効成分：エチプロール…1.5% イソプロチオラン…12.0% 安全性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)



■ 適用病害虫および使用方法

<2023年4月現在の登録内容>

作物名	使用目的	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エチプロールを含む農薬の総使用回数	イソプロチオランを含む農薬の総使用回数
稲	—	いもち病	3~4kg /10a	葉いもちに対しては 初発7~10日前 穂いもちに対しては 出穂10~30日前 但し、収穫30日前まで	2回以内	湛水散布 又は 無人航空機 による散布	2回以内 は種時(直播) 又は 移植時までの 処理は1回以内	3回以内 (移植前は1回以内、 本田では2回以内)
		ウンカ類 ニカメイチュウ		収穫30日前まで				
		カメムシ類	収穫30日前まで					
	稲こじ病	4kg /10a	出穂10~30日前 但し、収穫30日前まで					
登熟歩合向上	—	—	4kg /10a	出穂10~20日前 但し、収穫30日前まで	—	—	—	

◆ 使用上の注意事項

- 散布に当たっては、田水深を3cm以上の湛水状態とし、散布後少なくとも3~4日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。なお、極端な漏水田での使用はさける。
- 予防的に散布した場合に有効であり、葉いもち防除の使用適期は初発の7~10日前である。発生予察情報に注意して時期を失ないように早目に散布する。穂いもち防除の使用適期は出穂20日前(葉いもちの発病程度、気象条件などにより出穂10~30日前)である。なお、使用適期は稲の品種あるいは地域により前後することがあり、また多発時の散布は効果が劣る場合があるので、使用に当たっては使用時期を誤らないように病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 稲の登熟歩合向上を目的として使用する場合、低温等生育不良条件下で効果的であるので、これらの条件下で使用する事が望ましい。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
 - ① ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。

- ② 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 無人航空機で散布する場合は、次の事項に注意する。
 - ① 専用の粒剤散布装置によって湛水散布する。
 - ② 事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整する。
 - ③ 散布薬剤の飛散によって他の動植物等へ影響を与えないよう散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長スボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。
- 無人航空機で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意する。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

レイミーの農業チャットルーム

ホームページに遊びにきてね!

レイミー

日農ホームページ

NICHINO 東京都中央区 京橋1丁目 19番8号

日本農薬株式会社

TEL: 0570-09-1177 URL: <https://www.nichino.co.jp/>

2023年6月作成版 (SK) BA22306S